

つがる市銀杏ヶ丘公園のイチョウの保護・保全事業実施報告書です。

名木の所在地	青森県つがる市木造千代町99-1(銀杏ヶ丘公園内)
名木の名称	公孫樹(イチョウ) 推定樹齢 300年
名木の所有者	つがる市
治療年月日	令和元年9月24日
樹木医による 名木の診断内容	当該樹木は、津軽藩4代藩主信政公が貞享元年(1684年)の新田開発の完成に伴い、代官所(御仮屋)改築の際にお手植えされたとされ、市指定天然記念物にも指定されている。 樹木は、全体的に葉の色が薄く、先端部に枯損枝が見られ樹形に乱れがある。樹幹部の腐朽は過去に治療され、地際からの萌芽は見られるもののヒコバエの発生が少ない。 雌木であることから、結実にエネルギーを使うため、もっと樹幹部周囲に萌芽を増やし成長させることが望ましい。 よって、現存するヒコバエや枝の生育を促すとともに、新しい枝の発生および樹勢の改善を図っていく必要がある。
実施した治療内容	当該樹木の樹勢を高めるため、以下の治療を実施する。 ・土壌改良工～柵中心に表土を掘り起こし、活性炭や高度有機質な土壌改良材を混合した土壌改良工を行う。 ・発根促進工～発根力を高める発根剤の散布を行う。
今後の名木に対する留意事項	経過観察する。



つがる市木造千代町

銀杏ヶ丘公園のいちょうの木です。

着工前の全景



枯損枝の状況



土壤改良工
培養土の混合



土壤改良工
表土のつぼ掘作業
円周70cm*深さ50cm



発根剤の散布



樹木治療の完了